F SPORT PARTS(TRD)

MS344-33006／7／8

サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はF SPORT PARTS(TRD)サイドスカートをお買い上げ頂き有難うございます。
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様へお渡しください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS344-33006-A0	ﾎﾜｲﾄﾉｰｳﾞｱｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ(083)	LEXUS ES	AXZH10	’18.10～	
MS344-33006-A1	ｿﾆｯｸｸｵｰﾂ(085)				
MS344-33006-C0	ﾌﾞﾗｯｸ(212)				
MS344-33006-C1	ｸﾞﾗﾌｧｲﾄﾌﾞﾗｯｸｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ(223)				
MS344-33007-NP	未塗装品				
MS344-33008	共通品(212)				

＊ディーラーオプションを含み、他社製品との同時を想定しておりません。
他社製品との同時装着の際は、あらかじめ確認を実施してください。

■ 構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	サイドスカート LH		1	
②	サイドスカート RH		1	
③	サイドスカート インナー LH		1	
④	サイドスカート インナー RH		1	
⑤	タッピングスクリューA		12	6×20
⑥	タッピングスクリューB		10	5×16
⑦	グロメット		8	
⑧	ラバーワッシャー		6	T2.0 ※2枚は隙間調整用
⑨	PACプライマー		2	N-200 ※左右で各1使用
⑩	型紙		1	A4
⑪	ブラックアウトステッカー		1	Fr : RH,LH　　Rr : RH,LH
⑫	取扱要領書		1	

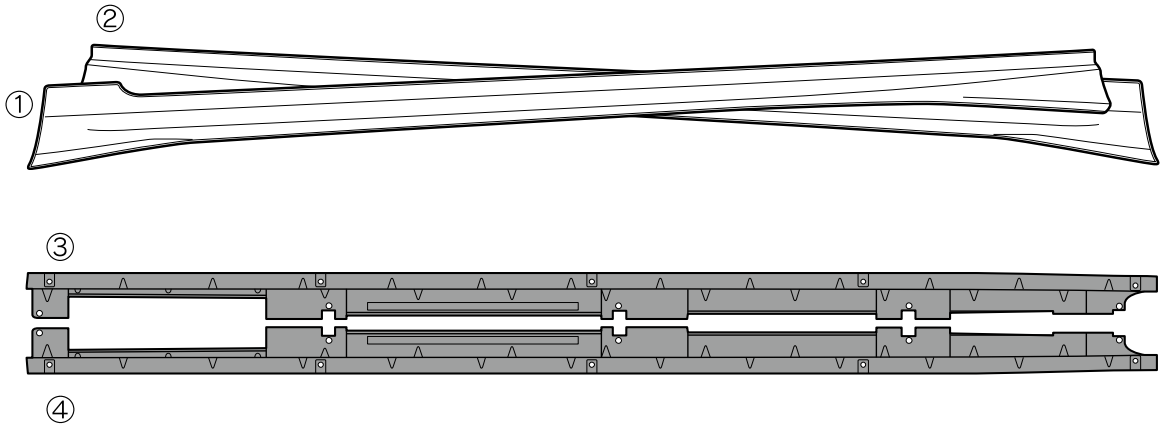
※確認・本製品が到着後、すぐに本製品に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

以下、MS344-33007-NP（未塗装品セット）のみに同梱

	部品名	品番	数量	備考
⑬	モール		各2	ブラック/グレー　L=3000
⑭	PACプライマー		1	K-500

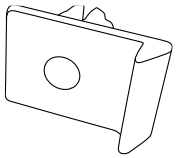
Racing Development TRD

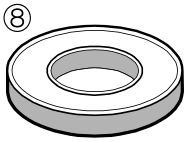
■ 構成部品図




⑤


⑥


⑦

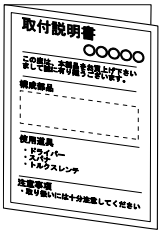

⑧



⑨

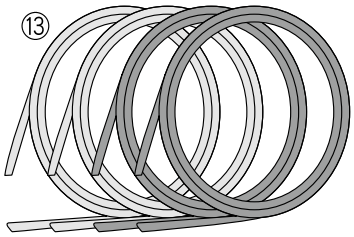
⑩ 型紙

⑪ ブラック
アウト
ステッカー



⑫

※**は未塗装品のみ同梱


⑬



⑭

取付け上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

⚠ 警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠ 注意	注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　**❗ 必ず行なっていただくこと**

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(ＩＰＡ)を使用してください。上記指定以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
❗ 本商品の両面テープは、環境温度が２０℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。
❗ 両面テープの圧着は４９Ｎ（５ｋｇｆ）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。
⃠ 本商品の取付け後２４時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので７０℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
❗ 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要になる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

Racing Development TRD

■ 目次

1.表紙、適合表、構成部品表、構成部品図・・・・・・・・・・・・１～２
2.取付け・取扱いご注意(作業者の方へ)・・・・・・・・・・・・・３
3.目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図・・・４
4.取付け要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４～１１
5.取付け後の確認・点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

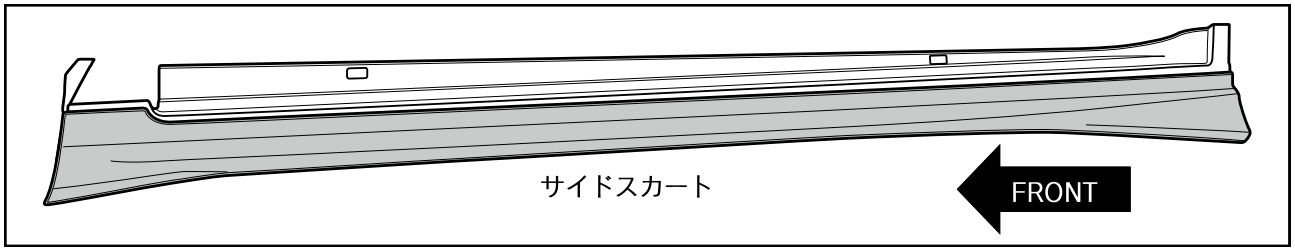
■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具 ・ドリル ・加工用工具(ハサミ、カッター等) ・ヤスリ ・スケール ・ドライヤー
・保護メガネ ・軍手 ・保護シート・保護テープ ・マスキングテープ
・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(ＩＰＡ) ・清潔なウエス

■ レクサス車用商品の保証について

本商品は、3年・60,000kmの保証を実施致します。(3年または60,000km走行時点のいずれか早い方まで)
※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<http://www.trdparts.jp>「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



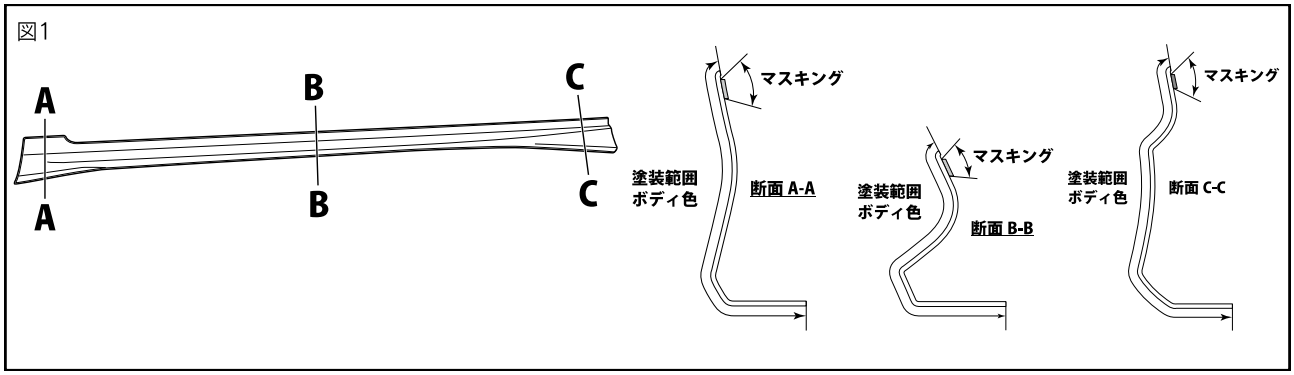
■ 未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品の塗装前/後の作業を記載しています。下記の要領に従い作業を行ってください。

□サイドスカートの塗装

※本取付け・取扱要領書は、主にLHを示しています。RHも同様に行ってください。

図1



1.図のようにサイドスカート①をボディ色で塗装する。

⚠ 注意：脱脂をする際はIPA又はホワイトガソリンを使用してください。シリコンオフやシンナーを使用すると、プライマーが溶ける恐れがあります。

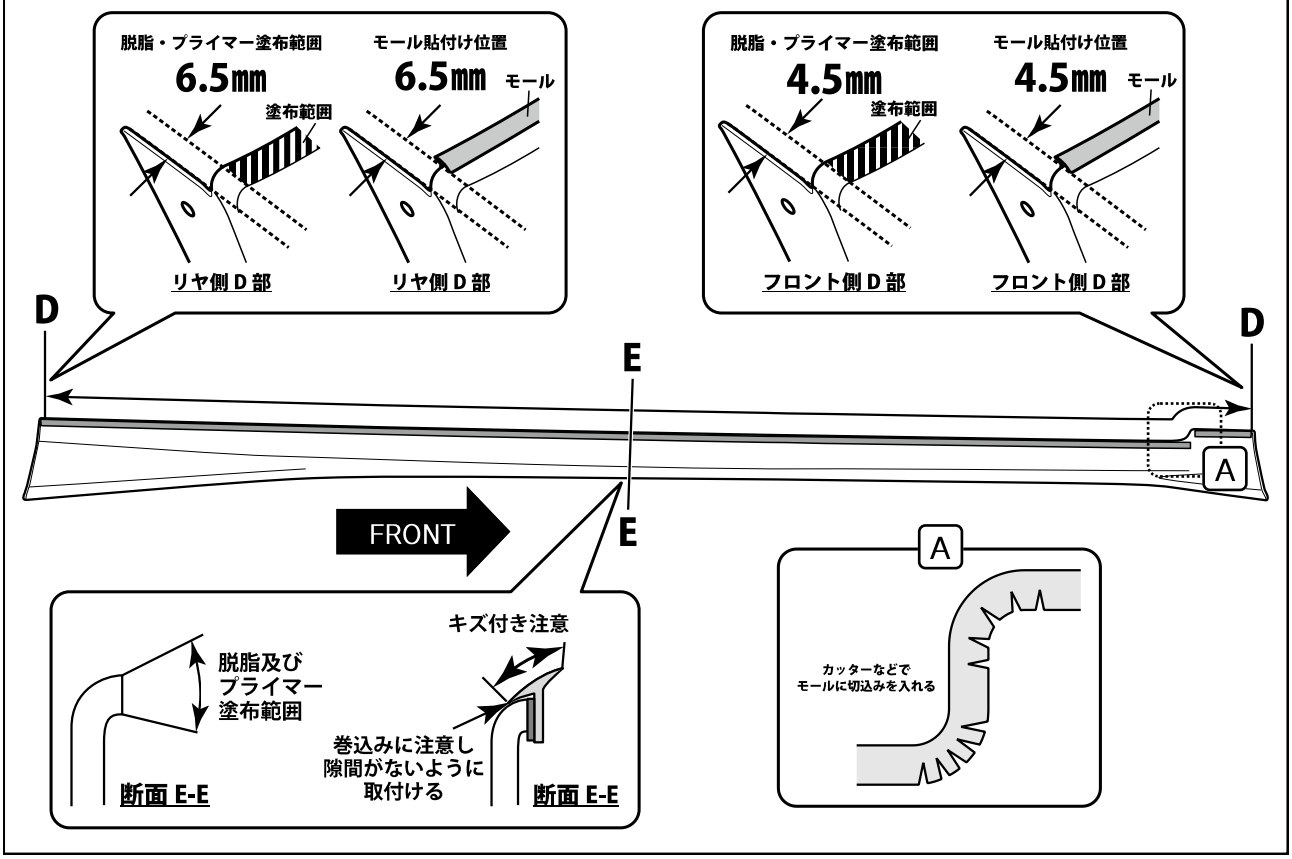
⚠ 注意：モール貼付け面と両面テープには絶対に塗装をしないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼って覆うなど対応してください。

⚠ 注意：乾燥温度を70℃以上に上げると製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

Racing Development
TRD

□モールの貼付け

図2



1.モール貼付け部の汚れを取除きIPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し、プライマー⑭K-500を塗布する。

⚠ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残りテープが剥がれる原因になります。また、プライマーのはみ出しはシミの原因になりますので注意してください。

アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は10分以上乾燥させてください。

2.図のようにサイドスカート①にモール⑬の離型フィルムを剥がしながら貼付け確実に圧着する。

アドバイス：モールは長めに設定されているので、長さを合わせて余りは切ってください。

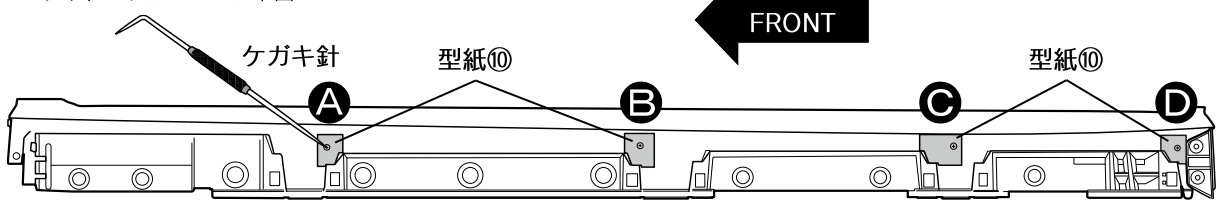
⚠ 注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させるため、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラー貼付け部をドライヤーなどで約40℃にあたためてください。

⚠ 注意：モール⑬は2色同梱されていますので巻末の推奨カラー表を参照してください。

□サイドスカート インナーの取付け

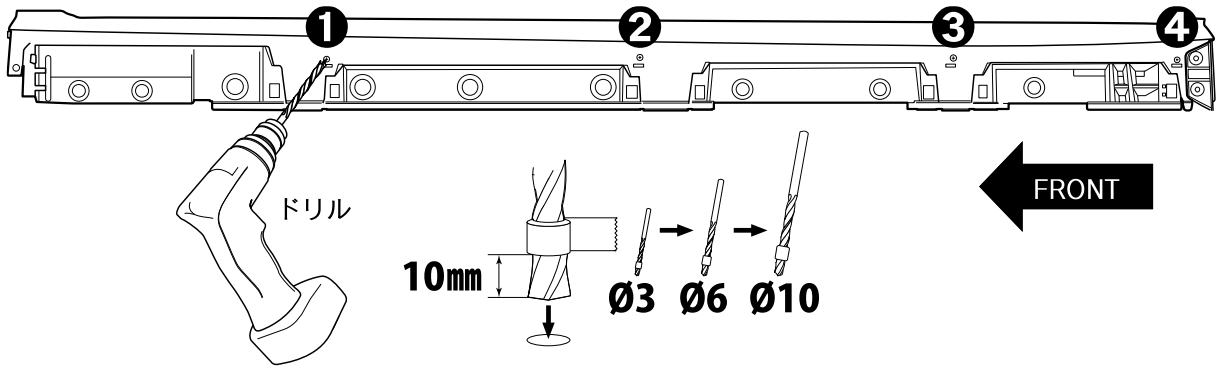
※本取付け・取扱要領書は、主にLHを示しています。RHも同様に行ってください。

図3　サイドロッカーモール下面



1.図のように型紙⑩A,B,C,Dをサイドロッカーモールの形状に合わせて貼付け、穴位置をマーキングして型紙⑩を剥がす。

図4



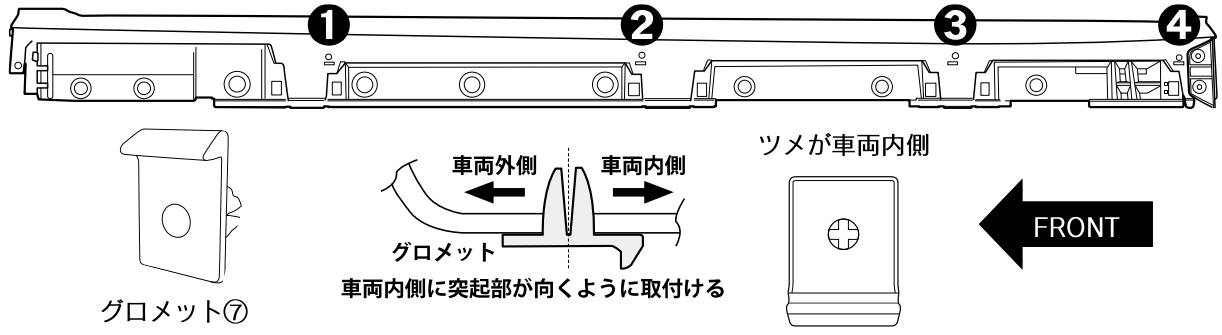
2.図を参照しØ3、Ø6、Ø10のドリル先端にストッパーとして10㎜の位置にガムテープを巻付け、マーキング位置にØ3とØ6のドリルで下穴、最後にØ10のドリルで本穴をあけ、バリを取除く。

アドバイス：穴あけ加工時ドリルは面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠ 注意：作業時は必ず保護メガネを着用してください。

⚠ 注意：バリを取除く際は穴径が大きくならないように注意してください。

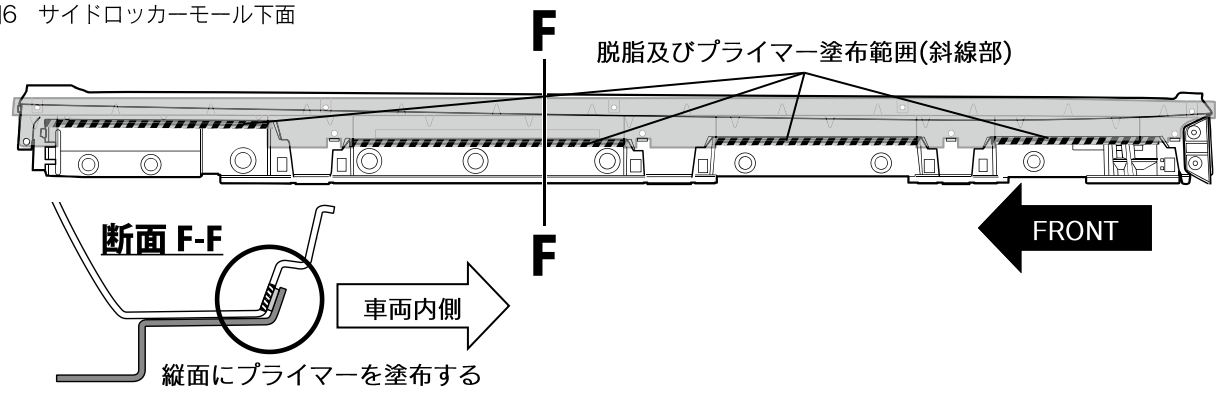
図5



3.図を参照し穴あけをした箇所にグロメット⑦を差込む。

⚠ 注意：グロメットの差込む向きに注意してください。向きを間違えるとサイドスカートが取付け出来ません。

図6　サイドロッカーモール下面



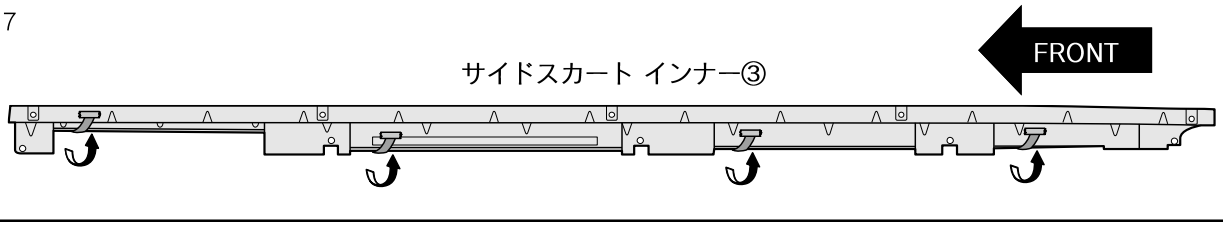
4.サイドスカート インナー LH③をサイドロッカーモールに仮組付けし貼付け位置を確認する。
5.サイドスカート　インナー　LH③を一旦取外し取付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂した後、斜線部にプライマー⑨N-200を塗布する。

⚠ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油分が残り、両面テープが剥がれる原因になります。

⚠ 注意：指示部以外にプライマーを付着させるとシミの原因になるので、十分に注意して作業を行ってください。

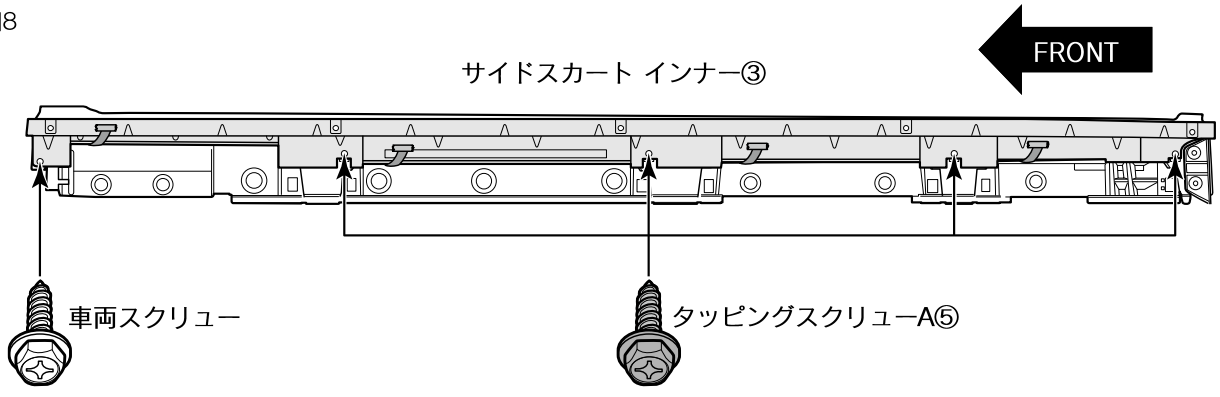
アドバイス：脱脂及びプライマー塗布後は10分以上乾燥させてください。

図7



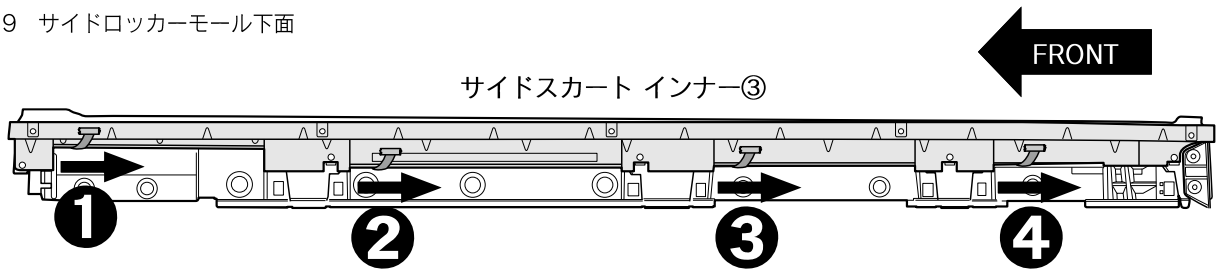
6.図のようにサイドスカート インナー LH③の離型フィルムを一部剥がし、表側に折返してマスキングテープで固定する。

図8



7.図のようにサイドスカート インナー LH③をサイドロッカーモール下部にあてがい、車両スクリュー及びタッピングスクリューA⑤で仮締めする。

図9　サイドロッカーモール下面

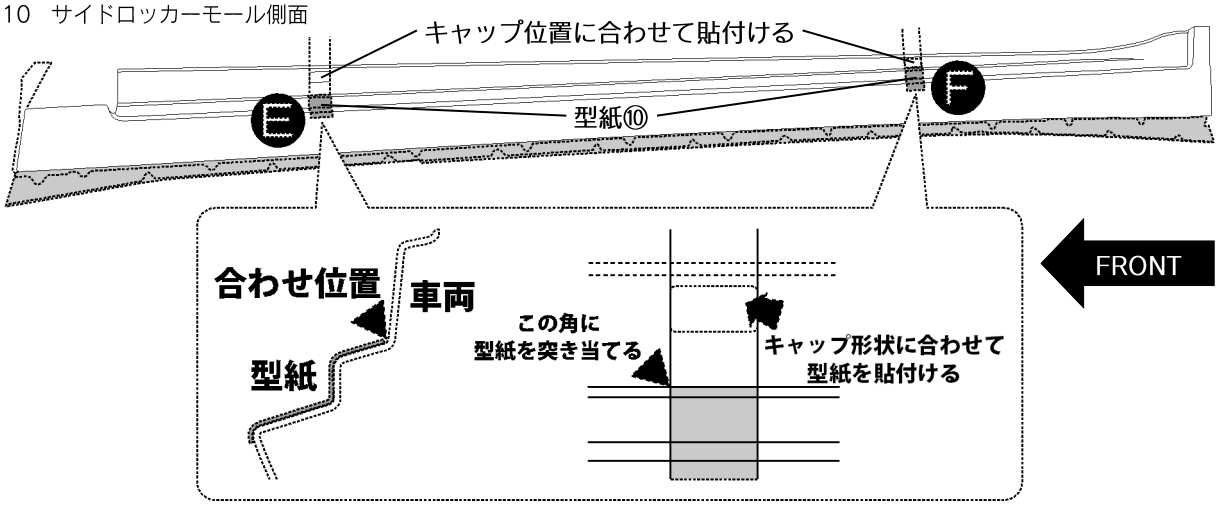


8.上下左右のバランス、隙、ズレが無いことを確認し、図の順に両面テープ離型フィルムを引抜き圧着する。
9.仮締め箇所を本締めする。

□サイドスカートの取付け準備

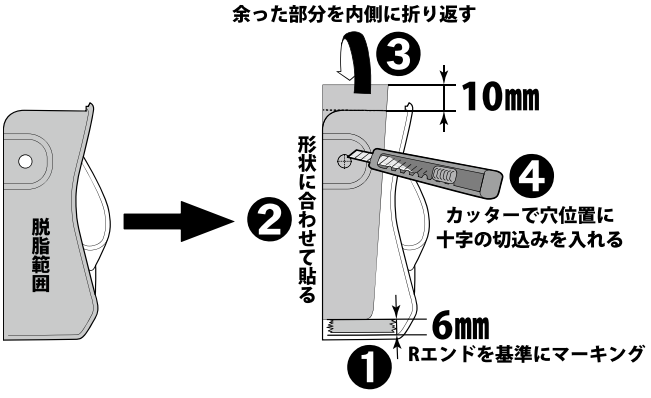
※本取付け・取扱要領書は、主にLHを示しています。RHも同様に行ってください。

図10　サイドロッカーモール側面



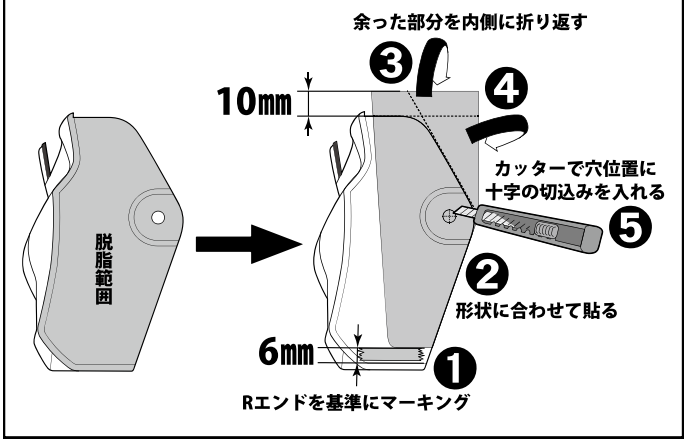
1.図を参照しサイドロッカーモールに型紙⑩貼付ける。

図11　サイドスカート前方



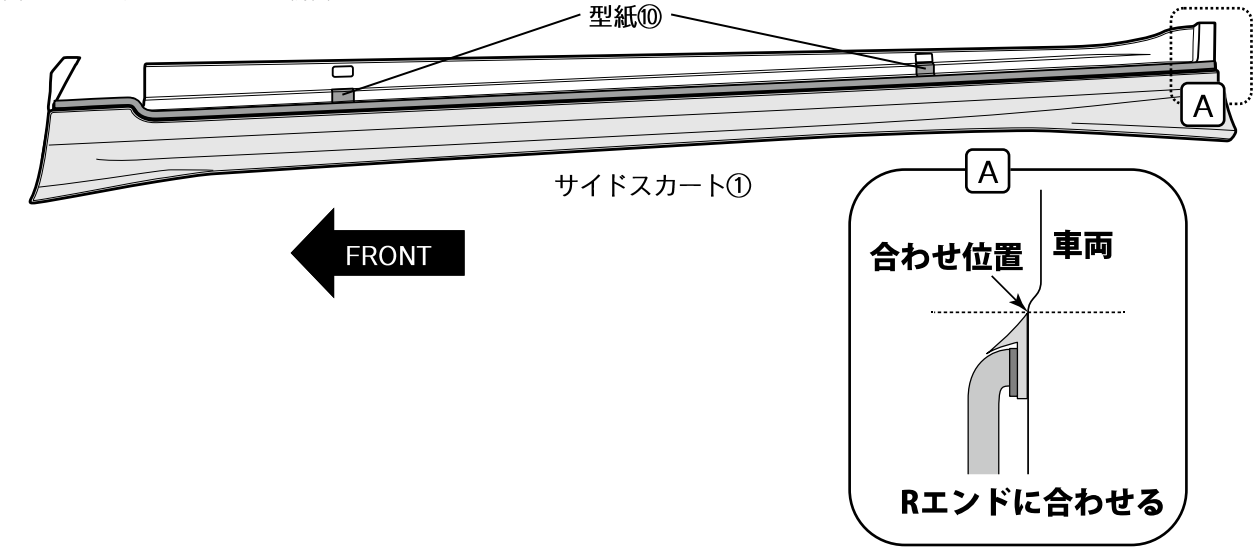
2.図を参照しブラックアウトステッカー⑪貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。
3.図を参照しブラックアウトステッカー⑪の貼付け位置をマスキングテープでマーキングする。(☒)
4.マーキングとサイドスカートの形状に合わせてブラックアウトステッカー⑪を貼付ける。(☒)
5.余った部分を内側に折返す。(☒)
6.穴位置に合わせてカッターで十字の切込みを入れる。(☒)
7.全てのマスキングテープを剥がす。

図12　サイドスカート後方



8.図を参照しブラックアウトステッカー⑪貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。
9.図を参照しブラックアウトステッカー⑪の貼付け位置をマスキングテープでマーキングする。(☒)
10.マーキングとサイドスカートの形状に合わせてブラックアウトステッカー⑪を貼付ける。(☒)
11.余った部分を内側に折返す。(☒,☒)
12.穴位置に合わせてカッターで十字の切込みを入れる。(☒)
13.全てのマスキングテープを剥がす。

図13　サイドロッカーモール側面



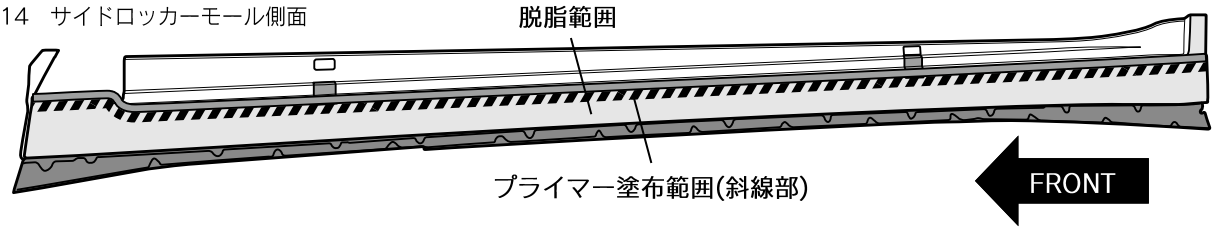
14.型紙⑩の位置に合わせてサイドスカート①を車両に仮組付けして、取付け位置をマスキングテープで養生する。

⚠ 注意：仮組付けをする際はサイドロッカーモールをキズ付けないよう十分注意してください。

⚠ 注意：マスキングテープの養生はプライマー塗布時のマスキングです。必ず正確な位置で行ってください。

Racing Development TRD

図14　サイドロッカーモール側面



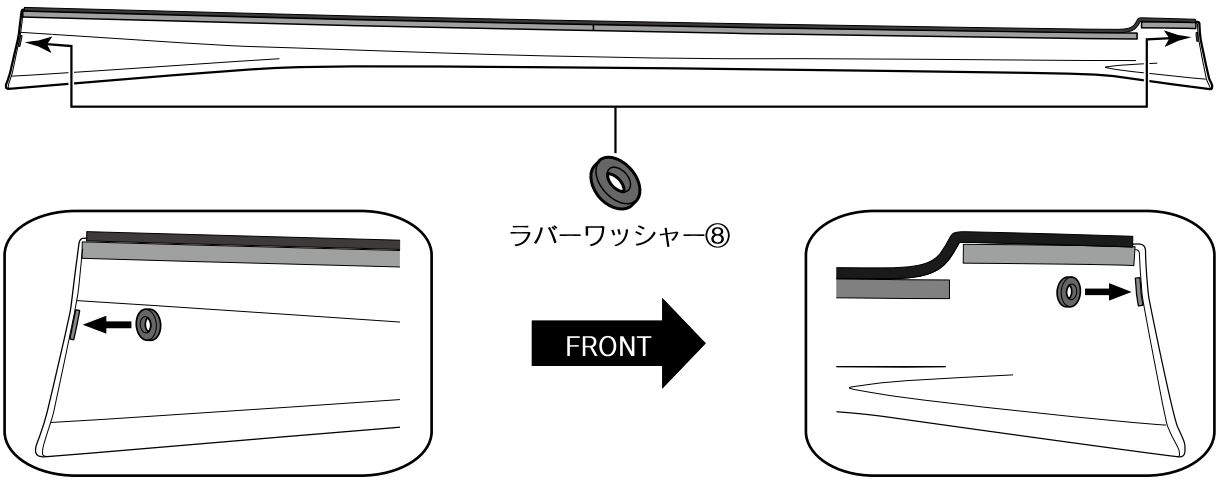
15.サイドスカート①を一旦取外し図に従いサイドスカート取付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂した後、斜線部にプライマー⑨N-200を塗布する。

⚠ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油分が残り、両面テープが剥がれる原因になります。

⚠ 注意：指示部以外にプライマーを付着させるとシミの原因になるので、十分に注意して作業を行ってください。

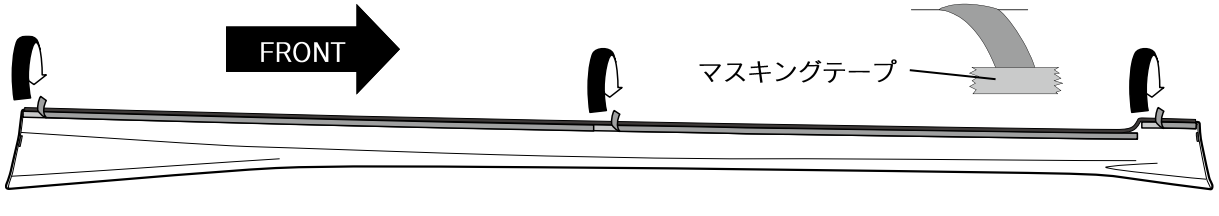
アドバイス：脱脂及びプライマー塗布後は10分以上乾燥させてください。

図15



16.図を参照しサイドスカート①の内側にラバーワッシャー⑧を貼付ける。(2箇所)

図16



17.図のようにサイドスカート①の離型フィルムを一部剥がし、表側に折返してマスキングテープで固定する。

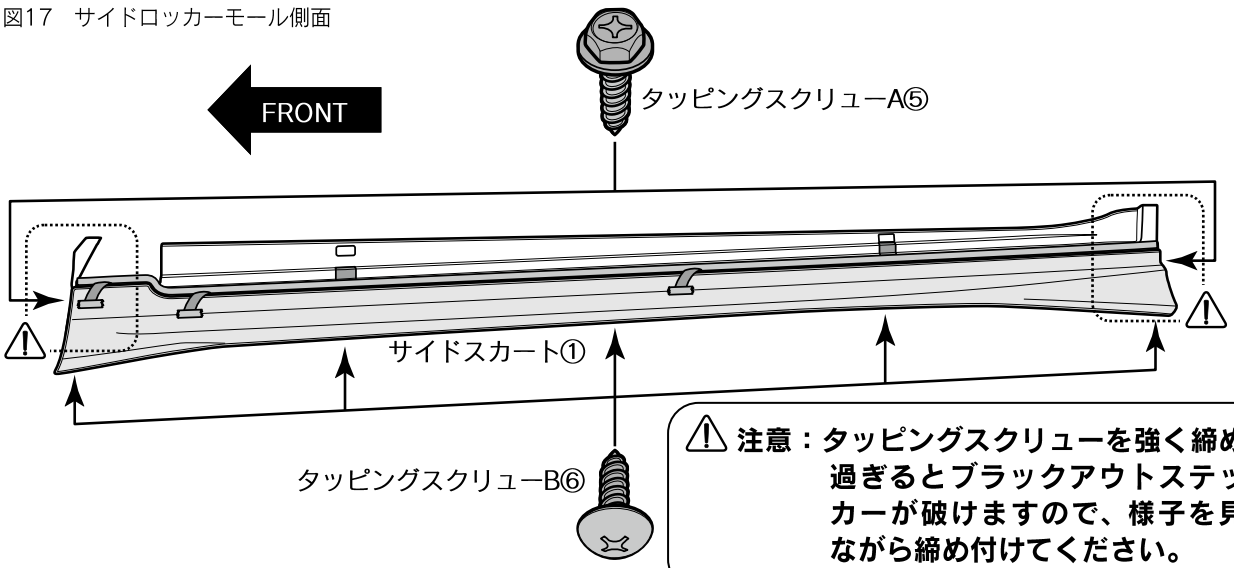
⚠ 注意：指示以上に両面テープの離型フィルムを剥がしてしまうと正しい取付けが出来なくなります。

Racing Development TRD

□サイドスカートの取付け

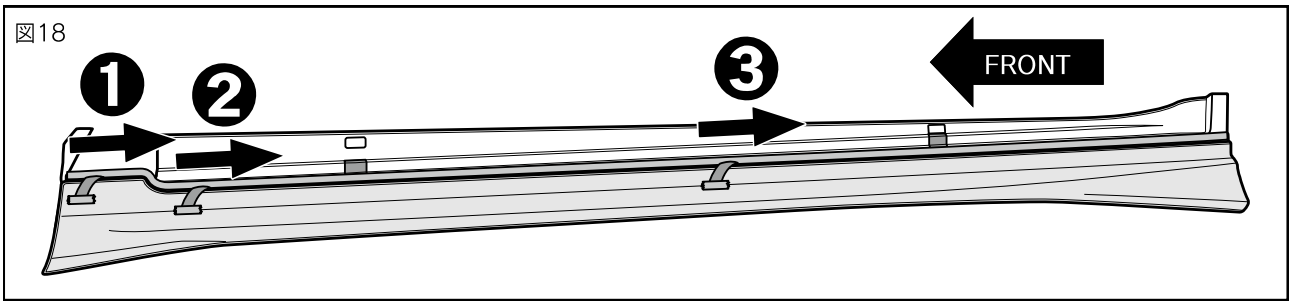
※本取付け・取扱要領書は、主にLHを示しています。RHも同様に行ってください。

図17　サイドロッカーモール側面



1.図のようにサイドロッカーモールにサイドスカート①をあてがい、タッピングスクリューA⑤(2箇所)及びタッピングスクリューB⑥(5箇所)を仮締めする。

図18



2.図のようにサイドスカート①を型紙⑩の高さに合わせ上下左右のバランス、隙、ズレが無いことを確認し、図の順に両面テープ離型フィルムを引抜き圧着する。
3.仮締めしていた箇所を本締めし型紙⑩を剥がす。

⚠ 注意：外気温が20℃以下の場合、両面テープの接着力が低下するため、テープ面をドライヤーで約40℃くらい温めてから取付けてください。

⚠ 注意：離型フィルムが途中で切れないように注意してください。

⚠ 注意：両面テープ離型フィルムを指示した順に剥がさなかった場合、隙が生じる恐れがあります。

⚠ 注意：両面テープの圧着は49N(5kgf)以上で圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き剥がれの原因になります。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間は洗車をしないでください。

アドバイス：タッピングスクリューをオーバートルクで締付けるとグロメットが破損するおそれがありますので注意してください。

Racing Development TRD

■ 取付け完了後の点検・注意事項

1.サイドスカート及びサイドロッカーモールが車両へ確実に取付けられていることを確認する。

2.製品及び純正部品に傷がつけていないことを点検する。

3.サイドスカート全周にわたり、浮きや剥がれがないことを確認する。

4.本取付けに伴い、分解・脱着した部位により再設定・調整が必要となる場合があります。
当該車両の修理書(トヨタ自動車発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ モール設定 推奨カラー表

【ＮＰ対応色】

カラーNo.	カラー名	推奨モールカラー
１Ｈ９	ﾏｰｷｭﾘｰｸﾞﾚｰﾒﾀﾘｯｸ	ブラック
１Ｊ４	ﾌﾟﾗﾁﾅﾑｼﾙﾊﾞｰﾒﾀﾘｯｸ	グレー
１Ｊ７	ｿﾆｯｸﾁﾀﾆｳﾑ	ブラック
１Ｌ１	ｿﾆｯｸｸﾛｰﾑ	ブラック
１Ｌ２	ｿﾆｯｸｲﾘｼﾞｳﾑ	ブラック
３Ｒ１	ﾚｯﾄﾞﾏｲｶｸﾘｽﾀﾙｼｬｲﾝ	ブラック
４Ｘ８	ｱｲｽｴｸﾘｭﾏｲｶﾒﾀﾘｯｸ	グレー
６Ｘ０	ｻﾝﾗｲﾄｸﾞﾘｰﾝﾏｲｶﾒﾀﾘｯｸ	ブラック
８Ｘ１	ﾋｰﾄﾌﾞﾙｰｺﾝﾄﾗｽﾄﾚｲﾔｰ	ブラック
８Ｘ５	ﾃﾞｨｰﾌﾟﾌﾞﾙｰﾏｲｶ	ブラック

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント

TRDコールセンター

TEL:050-3161-2121

https://www.trdparts.jp

Racing Development TRD

脱脂作業要領書

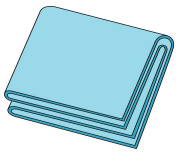
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

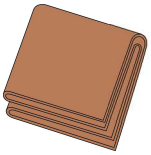
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

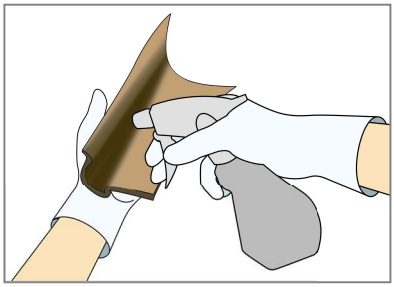

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

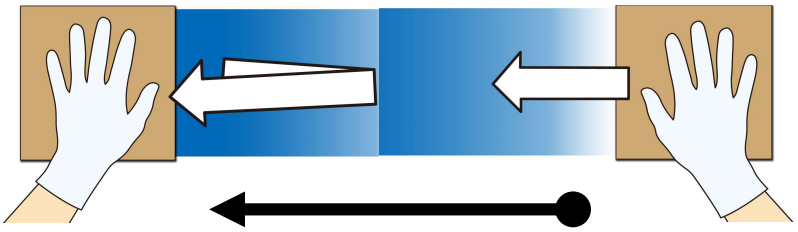


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

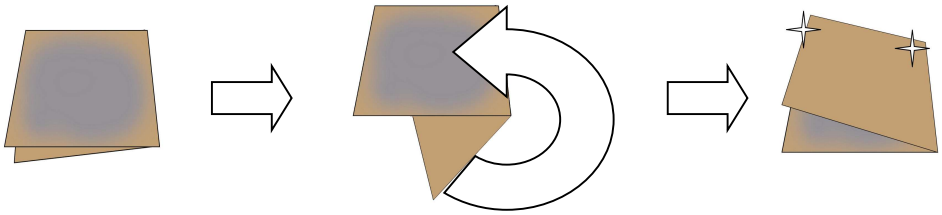
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。